

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)
JR白山駅周辺地区

平成24年10月

新潟県新潟市

様式2-1 評価結果のまとめ


都道府県名	新潟県		市町村名	新潟市		地区名	JR白山駅周辺地区			面積	42.5ha	
交付期間	平成20年度～24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	1.328百万円	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(市道寄居浜女池線2号(白山駅北口駅前広場)、白山駅南北自由通路)									
		提案事業	まちづくり活動推進事業(白山駅周辺まちづくり勉強会)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	市道中央2-67号線		事業計画精査による事業の削除				指標3[アクセス時間の短縮]に影響するが、目標及び指標は据え置く			
		提案事業	なし									
	新たに追加した事業	基幹事業	なし									
提案事業		①地域創造支援事業(白山駅既存ホーム改良) ②事業活用調査(事業効果分析調査)		①事業計画精査による事業の追加 ②都市再生整備計画で実施した事業効果の評価、分析のため				①小目標2[交通結節機能の強化]に影響するが、指標及び目標は据え置く ②影響なし				
交付期間の変更	当初	平成20年度～24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
	変更	-										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	白山市場の出店数	店舗/日	43	H18	50	H24	21	×	あり なし ●	出店者の高齢化に大型店への顧客流出が重なり、目標達成は見込まれないが、市場として駅周辺整備を活用した活性化策を検討しており、本事業に期待を持っている。	平成25年4月
	指標2	まちづくり勉強会等の回数	回/年	0	H18	2	H24	4	○	あり なし	本事業を契機とした勉強会の開催により、地元による継続的なまちづくり活動実施の機運醸成が図られた。	平成25年4月
	指標3	アクセス時間の短縮	分	6	H19	3	H24	3	○	あり なし	自由通路は平成25年秋の供用開始に向け整備中であるが、完成は確実であり、供用開始によるアクセス時間の短縮が図られ、歩行者の安全性・利便性の向上が見込まれる。	平成25年4月
	指標4									あり なし		
指標5									あり なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	駅前広場の整備についての期待度	点	3.0	H19		4.2				駅前広場の整備により、鉄道とバスやタクシーなどの交通手段を結ぶ機能が強化されることについて、駅利用者及び市民からの期待度が高いと確認できる。	-
	その他の数値指標2	自由通路・地下駅舎の整備についての期待度	点	3.0	H19		4.8				自由通路の整備により、鉄道を挟んだ南北の移動が容易になることについて、駅利用者及び市民の期待度が高いと確認できる。	-
その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	白山市場は、高齢化等から年々利用者や出店数が減少しているが、新規業態の参入やイベントの実施を計画するなど、駅周辺の整備に合わせた活性化の機運が高まっている。											
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	まちづくり勉強会等の開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民との意見交換など、今後も適宜勉強会等を開催していきたい。		
	持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり勉強会等の開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後は地元主体によるまちづくり活動の実施のしくみづくりを検討し、継続的な活動が図れるよう後方支援を行う。		

様式2-2 地区の概要


JR白山駅周辺地区(新潟県新潟市) 都市再生整備計画の成果概要

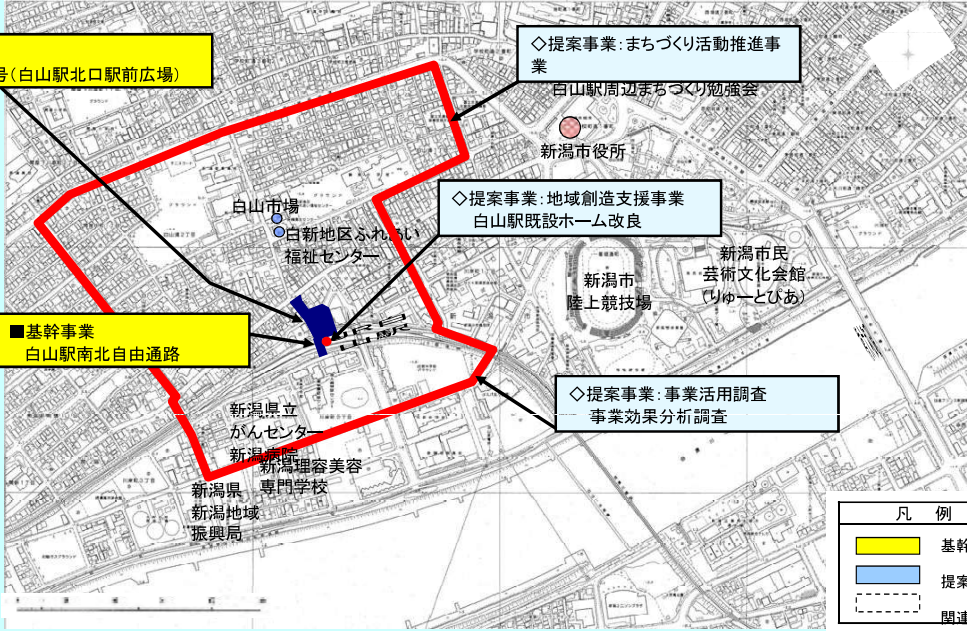
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 人々が交流するまちづくり 目標1: 交流施設などの活性化 目標2: 交通結節機能の強化 目標3: 歩行者の安全性・快適性の向上	白山市場の出店数	単位: 店舗/日	43 H18	50 H24	21 H24
	まちづくり勉強会等の開催回数	単位: 回/年	0 H18	2 H24	4 H24
	アクセス時間の短縮	単位: 分	6 H19	3 H24	3.0 H24
	駅前広場の整備についての期待度	単位: 点	3.0 H19		4.2 H24
	自由通路・地下駅舎の整備についての期待度	単位: 点	3.0 H19		4.8 H24

北口駅前広場完成予想図



南北自由通路完成予想図





■ 基幹事業
市道寄居浜女池線2号(白山駅北口駅前広場)

■ 基幹事業
白山駅南北自由通路


◇ 提案事業: まちづくり活動推進事業
白山駅周辺まちづくり勉強会

◇ 提案事業: 地域創造支援事業
白山駅既設ホーム改良

◇ 提案事業: 事業活用調査
事業効果分析調査

凡例
 ■ 基幹事業
 ■ 提案事業
 - - - 関連事業

まちづくり勉強会



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺整備を契機に電車通り沿線商店街や白山市場などの再生に対する機運が高まり、まちの活性化や賑わいづくりへの意識向上が図られた。 ・駅前広場の整備による交通結節機能の強化、また、自由通路の整備による歩行者の鉄道南北方向移動時の距離・時間の短縮が図られた。これにより、県立がんセンターからの駅利用に対する利便性が飛躍的に向上した。 ・バリアフリー化した歩道の整備及びエレベーターの設置により、安全で快適な移動環境の整備が図られた。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元主体による勉強会の開催など継続的なまちづくり活動の支援を図る。 ・未完了の駅前広場及び自由通路の整備を確実に進め、鉄道と今後導入予定のBRTやバスとの連携により、公共交通利用に係る利便性向上を図る。 ・快適、安全で利便性の高い交通結節点として、駅前広場へのアクセス道路の整備が必要である。